

# 「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」 フォローアップ要項

令和 5年 3月 6日  
改正：令和 7年 3月 14日

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会決定

## 1. 内容

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～（以下「本事業」という。）の目的の着実な達成に資するため、選定事業計画の進捗状況を適切に把握・確認するとともに、必要に応じて指導・助言を行う。

## 2. 実施体制

- (1) フォローアップは、デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会（以下「委員会」という。）で行う。
- (2) 委員会は、選定事業計画ごとに、複数のフォローアップ担当委員（以下「担当委員」という。）を割り当てる。

## 3. 実施方法

### (1) 実施手順

#### <大学>

大学は、自己点検評価や外部評価により、選定事業計画の適正な実施に努めつつ、毎年度終了時に、選定事業計画ごとに実施状況報告書（令和4年度選定事業：別紙1-1、令和6年度選定事業：別紙1-2）を作成し、委員会に提出する。なお、4年度目及び7年度目の評価実施前年度分の同報告書の作成・提出については要しない。

#### <担当委員>

- 1) 担当委員は、以下（2）に示す観点に基づき、事業計画が適正に実施されているかどうかを毎年度提出のあった実施状況報告書で確認する。
- 2) 担当委員は、実施状況報告書の確認後に委員フォローアップ報告書（別紙2）を作成し、委員会に提出する。その際、委員会が認める場合に、必要に応じて書面による追加確認または現地視察を行うことができる。  
なお、4年度目及び7年度目の評価実施前年度分の同報告書の作成・提出については要しない。

#### ○委員現地視察の位置付け

- ・追加の確認事項の確認を行い、必要に応じ事業趣旨に沿ったプログラムの運営や事業目的の着実な達成がなされるよう指導・助言を行う。

#### ○大学の関係者（委員現地視察対応者）

- ・全体責任者（学長）（必要に応じて同席）
- ・事業責任者
- ・事業担当者

- ・関係教員・職員（必要に応じて同席）
- ・事業参加学生
- ・事務局（必要に応じて同席）

#### ○実施項目（例）

- ① 事業責任者等との質疑応答
- ② 学生との意見交換
- ③ 教育現場・施設等の視察
- ④ 講評
- ⑤ その他、担当委員が必要と判断する事項

※実施項目並びに各実施項目にかかる所要時間は事業計画の進捗状況等に応じ、半日から一日程度の範囲において、委員会において決定するものとする。

3) 現地視察後、担当委員は現地視察報告書（別紙3）を作成し、委員会に提出する。

4) 担当委員は、上記によらない場合でも以下（2）に示す観点に基づき、事業計画が適正に実施されているかどうかを把握し、必要に応じて指導・助言を行うことができる。

#### <委員会>

委員会は、担当委員から提出のあった委員フォローアップ報告書について、その内容を確認し、必要に応じて意見等を付して、大学に開示する。また、委員現地視察が実施された場合は、現地視察報告書についても同様に扱うものとする。

各報告書における委員会からの意見等への大学の対応状況については、委員会の実施する中間評価及び事後評価において確認し、各評価に反映させることとする。

なお、フォローアップの過程で進捗状況に著しい問題があると委員会が判断した場合は、委員会の決定に基づき、当該事業計画に対する文部科学省による支援を縮小もしくは廃止させることもありうるものとする。

#### （2）フォローアップの観点

- ・事業の趣旨・目的が適切に理解されているか。
- ・事業計画の実施・運営体制は適切に構築されているか。
- ・事業計画は当初の構想・計画に沿って順調に進捗しているか。必要に応じて、中間評価結果等を踏まえ当初計画が適切に見直され、順調に進捗しているか。
- ・審査結果及び中間評価結果に付した留意事項、現地視察報告書の意見等への対応はなされているか。
- ・委員フォローアップ報告書の意見等への対応はなされているか。
- ・事業計画において提案された教育効果が期待できるものとなっているか。もしくは、効果が上がっているか。
- ・各事業で自ら設定した目標の達成度、資金計画の状況がどのようになっているか。
- ・事業経費の支出内容は、費用対効果を含め妥当であるか。

#### （3）その他

- ・実施に当たっては、大学、担当委員の過度の負担とならないように配慮する。
- ・委員現地視察は、委員会の判断により、オンラインによる実施等、社会情勢等を踏まえた方法で行うことができる。

### 4. その他

#### （1）公表等

- 1) 各大学の作成する実施状況報告書（公表部分）及び現地視察報告書については、振興会ホームページにおいて公表する。
- 2) 委員の氏名等は、「委員会の審議内容等の取扱いについて」（令和4年6月24日 デジ

タルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会決定)に則り、当該年度のフォローアップの全過程が終了後に公表することとする。そのため、自身を含め委員の氏名は他に漏らさないこと。

## (2) 利害関係者の排除

大学(連携校も含む)に利害関係のある委員は、当該大学のフォローアップを行わないものとする。

(利害関係者とみなされる場合の例)

- ・過去3年以内に専任又は兼任として在籍した場合
- ・過去3年以内に学外委員等で大学の運営に関わる職に就任した場合
- ・申請のあった事業に何らかの形で委員が参画する場合
- ・その他、中立、公正に審査を行うことが困難であると判断される場合

また、上記の利害関係者とみなされる場合の例に該当していなくても、大学(連携校も含む)との間に社会通念上疑義を生じさせる関係性を有している場合も、当該大学のフォローアップを行わないものとする。

(社会通念上疑義を生じさせる関係性を有している場合の例)

自身が事業責任者や事業の実施担当者との関係において、次に掲げるものに該当すると自ら判断する場合

- ・親族若しくはそれと同等の親密な個人的関係
- ・緊密な共同研究を行う関係
- ・密接な師弟関係若しくは直接的な雇用関係 等

委員は上記に留意し、利益相反の事実あるいはその可能性がある場合には速やかに事務局に申し出るとともに、当該大学についてのフォローアップを行わないこととし、会議においても当該事案に関する個別審議については加わらないこととする。

## (3) 情報の管理、守秘義務、実施状況報告書の用途制限

- 1) 全ての委員には守秘義務が課されているため、フォローアップの過程で知り得た個人情報及び審議内容に係る情報については外部に漏らしてはならない。フォローアップに係る調書には個人情報が含まれるものもあるため、外部に漏らすことは個人情報保護法違反に直結することに留意すること(フォローアップの参考とするための専門的知識を第三者に照会する場合には、個人情報も含めそれが当該フォローアップに関係していることを伏せること。)
- 2) 個人情報や機密情報を含む情報の漏洩リスクがあるため、計画調書等フォローアップ関係資料の内容を、生成 AI に入力しないこと。
- 3) 委員として取得した情報(実施状況報告書等各種資料を含む。)は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意義務をもって管理する。
- 4) 審議に係る資料等は、事業のフォローアップを行うことを目的とするものであり、その目的の範囲内で使用する。

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～  
実施状況報告書（令和〇年度）

代表校名 (連携校名)	
事業名	

事業者	職名・氏名	
事業責任者 連絡先	職名・氏名	
	TEL	
	E-mail	
事務担当者 連絡先	職名・氏名	
	TEL	
	E-mail	

事業連携機関 (連携校を除く)	
--------------------	--

<概要>

1. 事業の概要等

--

2. 進捗状況の概要

【公表】

--

**3. 事業実施における運営体制・自己評価の実施体制の進捗状況**

**①事業実施体制**

--

**②自己評価体制**

--

**4. 取組の継続・事業成果の普及にかかる進捗状況**

①取組の継続に関する具体的な構想

--

②事業成果の普及に関する計画

--

5. 年度別の計画（2 ページ以内） ※当該年度のみ記入

令和○年度	
〈令和○年度の状況〉	

6. 留意事項等への対応状況（2ページ以内）

【改善を要する点】	【令和○年度の対応状況】

7. 達成目標、アウトプット・アウトカムと評価指標

【申請時】 (達成目標)	【令和○年度の達成状況】 (達成目標)
(アウトプット・アウトカムと評価指標)	(アウトプット・アウトカムと評価指標)

## 8. 経費

## (1) 当該年度の補助事業額

(単位：千円)

年度		令和○年度
補助事業額		
内訳	補助金交付額	
	自己負担額(実績/見込み)	

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

## (2) 経費の明細【※当該年度のみ】

(単位：千円)

補助金申請ができる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費であり、本事業の目的を実現するための使途に限定されます。(令和4年度大学教育再生戦略推進費「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」公募要領参照。)

<令和○年度>	経費区分	補助金使用額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	計画との関係等
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	[間接経費]				
	・				
令和○年度	合計				

(事業責任大学名：)

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～  
令和6年度選定事業 実施状況報告書（令和〇年度）

代表校名 (連携校名)	
事業名	

事業者	職名・氏名	
事業責任者 連絡先	職名・氏名	
	TEL	
	E-mail	
事務担当者 連絡先	職名・氏名	
	TEL	
	E-mail	

事業連携機関 (連携校を除く)	
--------------------	--

<概要>

1. 事業の概要等

--

2. 進捗状況の概要

【公表】

--

3. 事業実施における運営体制・自己評価の実施体制の進捗状況

①事業実施体制

--

②自己評価体制

--

**4. 取組の継続・事業成果の普及にかかる進捗状況**

①取組の継続に関する具体的な構想

--

②事業成果の普及に関する計画

--

5. 年度別の計画（2 ページ以内） ※当該年度のみ記入

令和○年度	
〈令和○年度の状況〉	

6. 留意事項等への対応状況（2ページ以内）

【改善を要する点】	【令和○年度の対応状況】

7. 達成目標と進路、アウトプット・アウトカムと評価指標

【申請時】 (達成目標と進路)	【令和○年度の達成状況】 (達成目標と進路)
(アウトプット・アウトカムと評価指標)	(アウトプット・アウトカムと評価指標)

8. 経費

(1) 当該年度の補助事業額

(単位：千円)

年度	令和○年度
補助事業額	
内訳	補助金交付額
	自己負担額 (実績/見込み)

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

(2) 経費の明細【※当該年度のみ】

(単位：千円)

補助金申請ができる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費であり、本事業の目的を実現するための使途に限定されます。(令和6年度大学教育再生戦略推進費「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」公募要領参照。)

<令和○年度>	経費区分	補助金使用額 (①)	大学負担額 (②)	事業規模 (①+②)	計画との関係等
	[物品費]				
	①設備備品費				
	・				
	・				
	②消耗品費				
	・				
	・				
	[人件費・謝金]				
	①人件費				
	・				
	・				
	②謝金				
	・				
	・				
	[旅費]				
	・				
	・				
	・				
	[その他]				
	①外注費				
	・				
	・				
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費				
	・				
	・				
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・				
	・				
	[間接経費]				
	・				
令和○年度	合計				

(事業責任大学名：)

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～  
委員フォローアップ報告書(令和〇年度)

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会

大学名		整理番号	
事業計画名			

1. 進捗状況の概要(留意事項への対応状況等)

--

2. 課題・意見(今後、フォローアップが必要と思われる点、指導・助言内容等)

--

3. その他

--

-----  
【追加確認の必要性について ※開示時非公開】

・追加確認の必要の有無

有

無

※追加確認を必要とする理由

--

・追加確認の実施方法

書面

現地視察

※事前質問事項(委員会で追加確認の必要ありとされた場合のみ大学へ送付)

①
②
③

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～  
委員現地視察報告書(令和〇年度)

デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業委員会

大学名		整理番号	
事業計画名			

1. 進捗状況の概要

2. 意見(改善を要する点、指導・助言内容)